

令和7年度 第1回「三条市勤労青少年ホーム運営審議会」会議録

令和7年11月14日調製

1 日 時	令和7年10月21日（火） 午後2時～午後3時10分
2 場 所	三条市勤労青少年ホーム 3階 音楽室兼集会室
3 出席委員	小林会長、加藤副会長、竹内委員、野崎委員、金子委員、堀内委員、虎谷委員、佐藤委員、斎藤委員
4 欠席委員	なし
5 説明のための出席者	佐藤館長、吉田事務長、諸橋主任
6 所管課	米持課長、飯塚主任
7 傍聴者	なし
8 報道機関	なし
9 議事内容	(1) 正副会長の互選について (2) ソレイユ三条の事業課題と対応策について (3) 令和7年度事業の実施状況について (4) その他
10 会議の経過及びその結果	
吉田事務長	<p>これより、令和7年度第1回勤労青少年ホーム運営審議会を開会いたします。私は、当審議会の事務局をしております、勤労青少年ホーム事務長の吉田です。</p> <p>会長が選任されるまでの間、事務局が進行いたしますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の出席者数は9名、全員出席です。</p> <p>はじめに、三条市勤労青少年ホーム館長の佐藤から挨拶を申し上げます。</p>
佐藤館長	<p>館長の佐藤です。この会議は、10月と年明けの2月の年2回開催しております。</p> <p>新しく委員の委嘱を受けられた方もおられますが、この機会にソレイユ三条の運営に関して忌たんのない御意見をいただければと思っております。</p> <p>ソレイユ三条を取り巻く環境も変わってきており、これに関しては所管の商工課や事務局から、随時皆様からの御質問に答えてまいりたいと思っております。この会議が有意義なものになるよう、よろしくお願いいたします。</p>

吉田事務長	<p>それでは、委嘱後最初の運営審議会でございますので、ここで、委員の皆様方及び職員から自己紹介をお願いします。</p>
委員ほか自己紹介	<p>(各委員及び事務局、所管課職員それぞれ自己紹介を行う。)</p>
吉田事務長	<p>まず、本日の議題(1)「正副会長の互選について」につきまして、運営審議会規則第4条において「審議会に会長一人及び副会長一人を置き、委員の互選により選任する。」とあります。</p> <p>最初に、会長の選任についてお諮りいたします。</p> <p>どのように選任したら良いか、委員皆様の御意見を賜りたいと思います。</p> <p>(しばらくして意見等なし)</p> <p>それでは、事務局から提案してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声あり)</p> <p>それでは、事務局案を申し上げます。</p> <p>会長には、前任期からお願いしております協同組合三条工業会の小林委員にお願いしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。</p> <p>(拍手多数)</p> <p>賛成多数と認め、小林委員に会長をお願いしたいと思います。</p> <p>(小林委員、会長席に移動、挨拶)</p> <p>ここからの議事進行は、小林会長をお願いいたします。</p>
小林会長	<p>続いて、副会長の選任をお願いしたいと思います。</p> <p>いかが取り計らいましょうか。皆様から御意見はありませんか。</p> <p>(しばらくして意見等なし)</p> <p>しばらくしてありませんので、私から指名させていただきます。</p> <p>副会長には、前任期からお願いしております三条金物卸商協同組合から選出の加藤委員にお願いしたいと思います。</p> <p>(拍手多数)</p> <p>賛成多数と認め、加藤委員に副会長をお願いいたします。</p> <p>(加藤委員、副会長席に移動、挨拶)</p> <p>会議の進め方ですが、事務局が議題(2)、(3)の説明を行った後、各委員から順番に発言していただきますのでよろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、議題(2)「ソレイユ三条の事業課題と対応策について」及び(3)「令和7年度事業の実施状況について」につきまして、事務局の説明を求めます。</p>

吉田事務長	私からの説明の前に、ソレイユ三条の事業課題と対応策に関連して商工課長から委員の皆様へ報告がございます。
小林会長	商工課長お願いします。
米持課長	<p>ソレイユ三条の現在の利用実態を見たとき、当初想定していた施設の設置目的に沿った使われ方をしていないという御意見をいただきましたところですが、この度、嵐南公民館が県道拡幅工事により遅くとも令和8年度末をもって利用停止する見通しとなっています。これに伴い、嵐南公民館の利用者をソレイユ三条を含む周辺のものづくり学校や少し離れていますが中央公民館などで受け入れることを検討しています。</p> <p>嵐南公民館の利用者の受入れをしつつ、これを契機にソレイユ三条の本質的な利用の在り方等についても見直しを具体的に進めていこうと考えております。</p>
吉田事務長	(引き続き、資料により説明)
小林会長	事務局の説明と商工課長の報告も含めて、各委員から順次発言をお願いしたいと思います。加藤副会長からお願いします。
加藤副会長	<p>順調に事業を実施しているように見受けられますが、年配の参加者も多いという感じがします。当社の20～40歳代くらいの従業員が退社後どんなことをやりたいと思っているのかということも知りたいと思いました。</p> <p>嵐南公民館が使えなくなるということで事業調整も必要になると思いますが、市商工課からの情報を注視していきたいと思います。</p>
金子委員	<p>ズンバ講座を受講した方から新しいミラーを入れたことへのお礼が感想シートに記載しており、良かったと思います。</p> <p>ソレイユ祭ですが、SNSによる情報発信も大切と思いますが、今日の三條新聞に出ていたように紙ベースによる発信も大事だと思っています。</p>
小林会長	三條新聞に記事として取り上げてもらうような動きはあるんですか。
佐藤館長	大切な地元紙であり、ソレイユ祭のようなイベントはもちろん、普段から定期的に立ち寄って、取材いただいております。
吉田事務長	三條新聞に掲載があった時の影響は、確かに大きいと感じています。
野崎委員	<p>おうちごはんを受講しています。随分長い間、給湯器が使えず大変でしたが、ようやくお湯が出るようになって良かったです。</p> <p>(本日)午前中、燕三条エフエム放送でソレイユ30周年祭の広報をしてきましたが、番組のパーソナリティーの方から今日の三條新聞にソ</p>

	<p>レイユ祭のことが出ていましたねと言われました。</p> <p>SNS は各種ありますが、主に何で情報発信しているのでしょうか。</p>
吉田事務長	<p>講座の急な日程変更等の連絡をソレイユ三条の LINE 公式アカウントから配信しているため、それに登録してもらうことに力を入れています。</p> <p>その他、一般の皆様向けにフェイスブック、X、インスタグラム、LINE 公式アカウントで情報を発信しています。</p>
野崎委員	<p>若い人には、インスタグラムと TikTok の人気があります。あと、SNS 相互に連携があると投稿が一度で済むので楽です。</p>
吉田事務長	<p>SNS の相互連携は、効率的な発信にもつながるので取り入れたいと思います。ありがとうございました。</p>
虎谷委員	<p>スポーツクライミングの参加者の年齢層はどのくらいの方ですか。講座の参加歴が長い人が多いと、新規で参加がしにくい感じがします。新規の参加者目線で情報発信してはどうでしょう。</p>
吉田事務長	<p>スポーツクライミングは、30～70 歳代まで幅広い年代から参加がありました。</p> <p>これまでの施設利用者を対象とする事業と広く新規の一般の方も含めて募集する事業とがありますが、新規の方が参加しやすくなるような広報を心掛けていきたいと思います。</p>
堀内委員	<p>ソレイユ祭はどんな内容のものですか。</p> <p>講座について、自分自身が講座などに参加したことがないからかもしれないかもしれませんが、楽しそうなのは分かりますが参加しづらい感じがします。</p>
吉田事務長	<p>ソレイユ祭は、講座やサークルの活動発表の場です。学校の文化祭のようなものとお考えください。</p> <p>ソレイユ三条には、サロンのように参加申込みの必要がないものもあります。まず、ソレイユ三条のことを知っていただけるようにと考えて活動しております。</p>
小林会長	<p>広報活動として、燕三条青年会議所へもチラシ等を送ってください。</p>
佐藤委員	<p>外国人のための日本語講座の開設は、とても良い取組だと思います。日本語を少しも話せないと本人だけでなく、周りの人にとっても不便です。</p> <p>ソレイユ三条の事業課題に「既に時代の要請が終わっている」とありましたが、なるほどと感じました。年齢の壁を取り払って色々な人が活動するほうが三条らしいと思いました。</p>

米持課長	現状のソレイユ三条の利用実態をベースにしながら、勤労青少年ホームという名称にとらわれず、今後どうあるべきか検討してまいりたいと考えております。方針が具体的になりましたら、委員の皆様へ報告し、皆様からも御意見等をいただく機会が出てくると思いますので、よろしくお願いいたします。
斎藤委員	人を呼び込むための仕掛けはどんなものがあるのか、商工会でも悩みは一緒です。 まちやまでは、土日のイベントで多くの人が集まっています。それをソレイユ三条に当てはめて良いかどうか、自分自身答えを持ち合わせておりません。難しい問題と認識しております。
小林会長	広報と集客は悩みの種であり、永遠の課題ですね。
竹内委員	若い層の登録者が少ないのは、ある程度やむを得ないと思います。勤労青少年の定義はどうなっていますか。
吉田事務長	勤労青少年の定義ですが、法律上の規定はありません。 運用の経緯ですが、国の基本方針で35歳未満としておりましたが、平成27年の法改正により、法律上、勤労青少年ホームの設置規定が廃止されました。これにより、施設利用年齢35歳未満という線引きも廃止され今日に至っております。
小林会長	次に、議題(4)その他について事務局からお願いします。
吉田事務長	今月26日の日曜日にソレイユ30周年祭を開催します。この施設が本町一丁目から移転して30年を迎える記念すべき年のイベントです。少しの時間でもどんなものかのぞいていただき、御意見等をいただければありがたいと思っております。
小林会長	ただ今の事務局からの告知について御質問等はありませんか。 (しばらくしてなし) 事務局から他に何かありますか。
吉田事務長	次回の運営審議会は、来年2月開催を予定しております。日程調整後、開催案内をお送りしますので、皆様の御出席よろしくお願いいたします。
小林会長	次回審議会の時期になりましたら、調整をよろしくお願いいたします。 その他、全体を通して委員の皆様から何かありますか。 (しばらくしてなし)
小林会長	他にないようですのでこれをもって運営審議会を閉じたいと思います。 以上で、令和7年度第1回三条市勤労青少年ホーム運営審議会を閉会します。

	ありがとうございました。
閉会	午後 3 時 10 分